

木更津南清苑の  
ゾーニングについて

2021年2月1日版

木更津南清苑 コロナ対策委員会

## ① 基本的なゾーニングの考え方

### ・ 感染エリア（感染者がいるエリア）

感染が疑われる者、濃厚接触者、  
感染が疑われる者との濃厚接触が疑われる者も含む

### ・ 準感染エリア（防護具装着脱衣エリア）

### ・ 非感染エリア（感染者がいないエリア）

## ②南清苑におけるゾーニングの考え方

### ・感染エリア（次ページより「レッドゾーン」という）

感染者がいるエリア

### ・準感染エリア（次ページより「イエローゾーン」という）

感染が疑われる者<sup>1</sup>、濃厚接触者<sup>2</sup>、

### ・消毒エリア（次ページより「ブルーゾーン」という）

感染エリアに隣接する防護具着脱場所

非感染エリアと準感染エリア間の防護具着脱場所

### ・非感染エリア（次ページより「グリーンゾーン」という）

上記3エリア以外の清潔なエリア

感染が疑われる者<sup>1</sup>・・・風邪の症状、発熱が続く、強いだるさ、息苦しさがある、普段の反応と違う、総合的に判断した結果、感染を疑う者又はPCR検査結果が出ていない者。

濃厚接触者<sup>2</sup>・・・感染が疑われる者が症状を呈した2日前から、同室又は15分以上1m以内で接触した者、無マスク着用など適切な感染防具なしに感染が疑われる者を診察、看護、介護をした者、感染が疑われる者の気道分泌液等の汚染物質に直接接触した者

### ③ 基本的なゾーニングと

#### 南清苑におけるゾーニングの違いについて

南清苑においてレッドゾーンを感染者がいるエリアのみとする。

イエローゾーンを感染が疑われる者（以下「疑い」という）、濃厚接触者（以下「濃厚」という）がいるエリアとする。

南清苑独自でブルーゾーンを設定し、レッドゾーンに隣接する防護具装着脱衣場所とグリーンゾーンとイエローゾーンの間で防護具装着脱衣場所に設ける。

グリーンゾーンを感染者及び疑い、濃厚がいない清潔なエリアとする。

ゾーニングの基本的な考え方に従い、疑いと濃厚がいるエリアをレッドゾーンとした場合、コロナ発生時に職員不足の為に業務の遂行が困難になると考えられる。

そのことを踏まえ、疑いと濃厚がいるエリアをイエローゾーンとし、専属職員の配置は行わずに業務を遂行する。

グリーンゾーンで働く職員のイエローゾーンへの移動に関しては、ブルーゾーン内で感染症対策(防護具の着脱や消毒等)をすることで可能とする。

利用者のグリーンゾーンとイエローゾーン間の移動は原則禁止とする。

感染拡大の可能性がある為、職員は再度感染症対策の徹底を務める必要がある。